

東海中学校

連携グループ 城南小学校・浅間台小学校・城南第二小学校



校長 丸谷 大輔
所在地 品川区東品川3-30-15
TEL 3471-6951 FAX 3471-6370
URL <https://tokai-jh.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス りんかい線「品川シーサイド」駅下車出口Aより 徒歩 5 分
京浜急行本線「青物横丁」駅下車 徒歩 10 分



求めよう！ 東海中で15歳のあるべき姿を！！

教育目標

己を磨き、よりよい社会を築く人間

- 1、思いやる心 2、自ら学ぶ姿勢 3、最後までやりぬく力
[校 訓] ○ 誠実 ○ 規律

本校の特色

- 進路=生き方「キャリア教育」の充実
 - ・人としてのあり方・生き方を考えさせる仕掛けの充実
 - ・異年齢・縦割りの活動
例えば、9年～7年へ「礼法指導」・8年～7年へ「校舎案内」
行事における取組（体育祭・音楽祭における教え合い、学び合い）
- 「社会に通用する」・「貢献する」ことを目指す生活指導
 - ・当たり前のことが当たり前にできる（挨拶・返事・時間を守る・言葉遣い・役割を果たす）
 - ・人と人とのかかわり、集団として個としての成長を目指す
- 学習環境を整え、学力の向上
 - ・全校で朝読書を実施し、落ち着いた雰囲気から学校生活をスタート
 - ・授業規律を確立し、ICT や様々な工夫をし、学習の定着を図る
 - ・学力調査・実力テスト・定期考査をもとに、分析し、自ら振り返り、学習に取り組む
- 生徒会から発信
 - ・「三菱鉛筆とのコラボ」
水平リサイクル（回収した使い終わったペンから、ペンを）の推進、校内から地域へも。
- 連携小学校と共に、『賢く、さわやかに！ 自信をもち、将来を語れる子』を目指し一貫教育
 - ・クリーンレンジャーやティーチャーズボランティアも
 - ・品川教育の日をはじめ、情報を共有し、更なる子どもたちの健全育成・成長を目指す



礼法指導



生徒総会



体育祭



音楽祭

学級数・生徒数 (令和8年5月1日現在)				
	7年生	8年生	9年生	合計
学級数	4	4	4	12
男子	64	65	83	212
女子	65	57	59	181
生徒数	129	122	142	393

部活動	
運動部	バスケットボール部（男女）、バレーボール部（男女）、卓球部（男女） 陸上部（男女）、サッカー部、ソフトテニス部（女）
文化部	吹奏楽部、美術部、お菓子部、文芸部、将棋部、パソコン部

令和7年度 卒業生進路

	全日制高校						高等専門 学校	定時・通信制 高校	その他	合計
	公立普通科	公立専門科	公立総合科	私立普通科	私立専門科	国立				
計	36	5	9	59	0	0	4	5	0	118



校長 実松 美智代
所在地 品川区西品川3-10-6
TEL 3491-6623 FAX 3491-2653
URL <https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス JR各線「大崎」駅下車 徒歩8分
都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩10分
東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩12分



1. 生徒数 (令和8年5月1日現在)

	7年	8年	9年	合計	総計
通常の学級数	3	2	2	7	
特別支援学級数	1	1	1	3	10
通常の学級 生徒数	102	64	70	236	
特別支援学級 生徒数	9	4	4	17	253

○情緒固定級（3学級）
○特別支援教室（拠点校）
「かしわ」が設置されています。



朝の挨拶運動

2. 一貫教育目標

- ◆「磨こう」知恵と判断力
- ◆「鍛えよう」心と体
- ◆「身に付けよう」思いやりの心とルール

大崎中学校グループとして、三木小・芳水小と一貫教育を進めています。生徒一人一人の夢や希望に向かっての努力を応援します。目指す学校像は「品位と活気に満ち、成長を実感できる学校」です。



職場体験

3. 本校独自の特色ある教育活動

(1) きめ細やかな生活指導

- ・挨拶、返事、言葉遣い、5分前行動など、当たり前のことを大切にできるよう学校全体で前向きに行動支援していきます。
- ・朝の丁寧な出欠状況の確認、不登校状況への対応の検討、いじめ根絶へ向けた正しい判断や行動力を育む予防授業を細やかに実施しています。
- ・生活委員や生徒会役員、教員が毎朝、正門で挨拶運動を行います。

(2) キャリア教育の充実

- ・福祉講話や助産師さんによる命の授業、保育実習などの体験学習を積みことにより、思いやりの心、命の素晴らしさを体感し、人権尊重の精神を育みます。職場訪問・体験などの他にも、様々な体験活動を組み込み、進路＝生き方について考えさせます。

(3) ボランティアマインドの醸成

- ・区民まつり、お花いっぱい大崎、地区運動会、地域交流レクリエーションなど多くの地域行事に生徒がボランティアとして参加し地域の方と深く関わることで、ボランティアマインドを育てます。
- ・地域への参加ができない場合は、校内ボランティア活動を企画し、参加者を募って奉仕活動を行うことで、自らの意思で貢献しようとする実践力をつけさせます。

(4) 防災の拠点として地域を守る

- ・しながわ防災 Jr. プロジェクト推進校として、防災についての実践力を高めていきます。
- ・地域の総合防災訓練や一斉防災訓練では、避難訓練や安全指導の一環として生徒を参加させ地域の方々との共助について考え、学びます。



福祉講話



お花いっぱい大崎ボランティア

4. 令和7年度 卒業後の進路 (主な進路先)

・国公立高校

園芸 大崎 大田桜台 大森 葛西南 桐ヶ丘 高知県立室戸 駒場
小山台 芝商業 神代 世田谷総合 千歳丘 田園調布 豊島 西
文京 三田 美原 目黒 雪谷 六本木 (50音順)

・私立高校等

あおぞら 青山学院 飛鳥未来 浦和学院 S N 大森学園 科学技術学園
KG 佼成学園 国際共立学園高等専修 品川翔英 志村学園 自由ヶ丘学園
淑徳巣鴨 女子美術大学付属 専修大学附属 大智学園 東海大学付属高輪台
東京 東洋 日本工業大学駒場 羽田国際 豊南 保善 目黒学院
目黒日本大学 四谷学院 和光 早稲田佐賀 早稲田実業
WOLSEY HALL Oxford (50音順)



ミニポンプ隊

浜川中学校

連携グループ 鮫浜小学校・立会小学校・浜川小学校

浜中

校長 小野 智
所在地 品川区東大井3-18-34
TEL 3761-1014 FAX 3761-3956
URL <https://hamakawa-jh.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 5 分
JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅下車 徒歩 12 分



～校区教育協働委員会を中心に、保護者・地域と共につくる学校～

1. 学級数・生徒数

	7年	8年	9年	A組	合計
学級数	5	4	3	4	16
生徒数	152	124	107	32	415

情緒固定級含む。
特別支援教室拠点校
(令和8年5月1日現在)

2. 一貫教育目標

◆人や地域とつながるみんなのウェルビーイング

3. 重点指導項目 “スローガン” 「ちがいを力に!!!」

(1) 自ら学ぶ

- ・数学・英語の少人数習熟度別指導の充実
- ・ICT機器の活用による学習意欲・学力向上（情報モラル教育の重視）
- ・対話的学びの充実（作文、スピーチ、ディベート、発表活動など）
- ・国際社会で活躍できる能力の育成（グローバル人材育成成熟、英検支援など）
- ・読書活動推進（朝読書など）

(2) 心を磨く

- ・自己肯定感の育成（生徒の主体的活動を重視する学校行事、部活動の充実など）
- ・人権教育推進（お肉の情報館の活用、人権強化月間の推進など）
- ・生徒会活動の充実（いじめ根絶への取組、あいさつ運動、ボランティア活動など）

(3) 豊かな人間関係を築く（保護者・地域の教育力活用）

- ・教育相談の充実（二者・三者面談、SC面談）
- ・地域ボランティアの充実（花海道地域清掃、地域センター行事への参加など）
- ・防災教育の充実（PTA・地域町会共催防災訓練、避難所運営訓練など）
- ・赤ちゃんふれあい体験の実施（東大井児童センターと共同実施）
- ・「浜川まつり」の実施
- ・放課後の学習支援活動の推進（放課後補習、地域未来塾、和太鼓）

(4) 体を鍛える

- ・体育授業の充実（複数指導で活性化）
- ・運動習慣づくり（大縄跳び、1分間エクササイズ、体力向上の取組など）

4. 部活動

バスケットボール部・バレーボール部・マラソン部・卓球部・吹奏楽部・美術部・書道部・コンピュータ部・鉄道研究部

5. 進路先 (主な合格校)

・都立高校等

上野、大崎、大田桜台、大森、科学技術、工芸、紅葉川、桜町、芝商業、新宿、墨田川、多摩科学技術、田園調布、戸山、つばさ総合、一橋、美原、目黒、八潮、雪谷、六郷工科、六本木、産業技術高等専門学校 など

・私立高校

岩倉、大森学園、関東国際、慶應義塾女子、國學院、品川エトワール女子、品川学藝、品川翔英、淑徳巣鴨、正則、正則学園、中央大学杉並、東海大学付属高輪、東京、東京実業、日本工業大学駒場、日本大学鶴ヶ丘、日本大学豊山、文教大学付属、明治学院、明治大学付属世田谷、目黒学院、目黒日本大学、立正大学付属立正 など



「ボランティア活動」



「浜川まつり」



「学校地域支援本部の活動」



「標準服」



校長 野口 芳一
所在地 品川区南大井2-3-14
TEL 3765-2849 FAX 3765-2751
URL <https://suzugamori-jh.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 10 分
J R 京浜東北線「大森」駅下車 徒歩 15 分



生徒にとっても、教職員にとっても、送り出す保護者にとっても、
今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校

生徒数 (令和8年5月現在)

7年 109名 4クラス
8年 139名 4クラス
9年 116名 3クラス
計 364名



一貫教育目標

- 自ら学び表現できる人
- 思いやりのある行動ができる人
- 自ら心と体を磨く人



本校の特色

① 指導法を工夫し改善し続ける教員集団

生徒に社会で通用する実行力の育成を目指して、計画を立てさせ、実践させ、チェックさせて、改善させるPDCAサイクルでの指導展開を様々な場面で推進しています。

また、生涯必要な自ら学ぶ態度を育成するため、学習方法の工夫・改善に取り組んでいます。

② 区内有数の広いグラウンドを生かした部活動

品川区内有数の広いグラウンドを有し、部活動が充実しています。部活動を通して、誇りと責任をもたせ、礼節を守る心や向上心、協調性などを伸ばします。

(令和8年度業務委託部活動 陸上競技部・硬式テニス部・サッカー部・卓球部・バドミントン部)

③ 多様性を学ぶ教育活動

ブラインドサッカーやデフサッカーなどの体験授業を継続し、障害者理解教育を推進します。また、大使館交流などで異文化を知り、障害者理解教育とともに多様性を学びます。



④ 主体性と実行力を育む学習活動

日々の学習活動や学校行事、部活動など、生徒一人一人の自主性を尊重し、教員が支援します。主体的に考え行動することで、社会で活躍できる「実行力」を育成します。



⑤ 読書活動の推進

毎朝、学活前の読書活動に取り組み、一日の学校生活が、静かに始まります。日々の読書活動に加え、ブックトークなど様々な取組を通して、読書活動を推進しています。

卒業生の進路

<都立高校・国公立高校>

園芸・大崎・大田桜台・北園・駒場・小山台・桜町・芝商業・墨田川・世田谷総合・第一商業・竹台・つばさ総合・田園調布・晴海総合・広尾・三田・美原・向丘・目黒・八潮・雪谷・芦花・六郷工科・大森定時制・産技高専 ほか

<私立高校>

愛国・大宮開成・大森学園・関東第一・慶應義塾・慶應義塾女子・駒込・駒場学園・品川翔英・自由ヶ丘学園・自由ヶ丘正則学園・正則・多摩大学目黒・中央国際・中央大学杉並・帝京・東海大学付属高輪台・東京・東京実業・東洋・錦城学園・日本工業大学駒場・日本体育大学荏原・羽田国際・福知山成美・目黒学院・目黒日本大学・立正大学附属立正 ほか



校長 石黒 晋
 所在地 品川区西大井5-5-14
 TEL 3772-0900 FAX 3772-0715
 URL <https://fujimi-jh.shinagawa.andteacher.jp>
 アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩10分
 都営地下鉄浅草線「馬込」駅下車 徒歩6分
 東急大井町線「中延」「荏原町」駅下車 徒歩15分



【教育目標】 自己実現を可能にする生徒の育成

学年のまとめ ことの指導目標

〈第7学年から第8学年〉

- 自己存在感を与え、共感的な人間関係を養うことに加え、自己決定の機会をより多く与えることで、意欲を育て、社会の一員である自覚を高める。

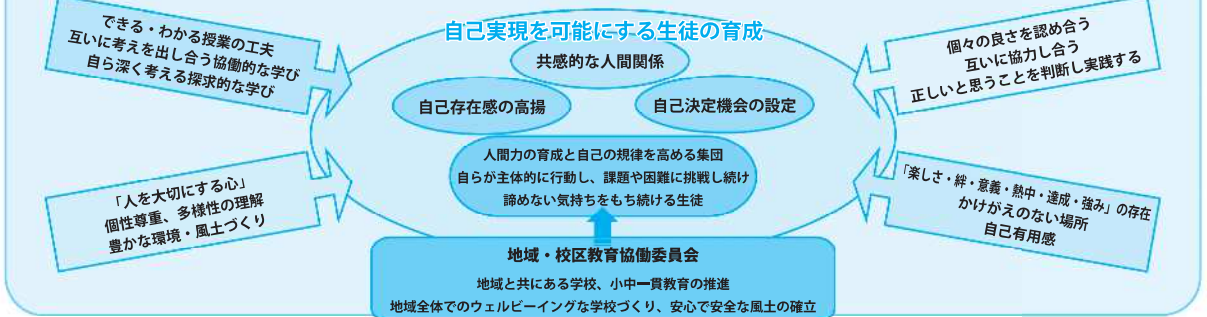
〈第9学年〉

- 自己存在感の高揚、共感的な人間関係の構築、自己決定力の向上により、主体的に問題解決を図る自己指導力を育成し、自主・自律の志を育む。

伊藤小学校・上神明小学校と一貫教育を推進しています

ウェルビーイングな学校

「一人一人の強みや可能性を引き出し、共に高め認め合い、皆が楽しくやいがいや充実感のもてる学校」



多数の部活動を設置！少数精鋭で素晴らしい成果を上げています。

令和8年度 設置部活動

＜運動系＞

野球（男）／サッカー（男）／バスケットボール／
バレーボール（女）／ソフトテニス（男）／バドミントン／
ダンス

＜文化系＞

吹奏楽／華道・茶道／アート／パソコン



卒業生の進路

希望する進路の実現 令和7年度卒業生

都立高校	都内 私立高校等	他県高校	高等専門学校 その他	合 計
34	29	5	2	70



学級数・生徒数

令和8年5月1日現在

学 年	7 年	8 年	9 年	合 計
男 子	52	43	46	141
女 子	29	56	35	120
合 計	81	99	81	261
学級数	3	3	3	9



荏原第一中学校

連 携 後地小学校・小山台小学校・
グループ 第四日野小学校

校 長 黒田 佳昌
 所在地 品川区荏原1-24-30
 TEL 3785-1680 FAX 3785-1737
 URL <https://ebaral-jh.shinagawa.andteacher.jp>
 アクセス 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 5 分
 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩 7 分



生徒が主語の学校づくり

1. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、「共生社会の実現に参画し、生き抜く生徒」の育成を教育目標に掲げ、人権を尊重し、学ぶ喜びと主体性をもち、自らの学力、人間性、体力を高めようとする生徒の育成を目指しています。



生徒会マスコット「エバード」

目指す学校像

「生徒が主語の学校づくり」

- ・生徒が明るく元気に登校できる学校
- ・生徒が主体的に自分たちで学校をデザインする学校
- ・生徒が主語の授業を目指して、日々授業の改善を図る学校
- ・生徒同士、生徒と教職員の間に信頼関係があり、トリプルA（安全・安心・温かい）の保たれる学校
- ・地域や社会の期待に応え、信頼される学校

2. 本校の特色

○令和7年度入学生徒の状況

本中学校グループとして一貫教育を進めている後地小・第四日野小・小山台小の生徒が5割を占め、本校の教育活動を希求し学校選択制などを利用した連携校以外の18校の小学校からの入学生が5割を占めています。

○生徒が主語の学校づくり

- ・各教科や市民科の授業、学校（学年）行事、生徒会活動、部活動など学校生活の様々な場面で、生徒（たち）が主体的に考え、話し合い、実行し、振り返るという学びのサイクルを実践し、生徒たちが達成感や自己有用感、自己効力感を感じられることを目指しています。

○生徒（たち）が主体的に自分たちで学校をデザインする実践力の育成

- ・生徒会が、課題改善活動の予算として、生徒会費、区民まつりの収益金などを運用するとともに、予算案の作成、予算の執行、会計処理、会計報告などに取り組み、責任ある自主的な活動を進めています。
- ・「運動会」「学習成果発表会」では、生徒（たち）が自ら荏原第一中学校の伝統を継承し発展させるために、生徒実行委員会を中心に、準備や練習、運営に取り組み、役割を果たす実践を進めています。

- ・生徒会を中心に古紙回収を行い、利益を各部活動の活動費として配当しています。

○合言葉「トリプルA」

- ・生徒と教職員が「トリプルA（安全・安心・温かい）」を合言葉に、命や心と体の健康を守ることを大切にしています。



伝統の9年生大円陣

○特色ある行事・授業

- ・地域と学ぶ防災授業、デフサッカー体験学習、赤ちゃんふれあい事業、区民まつりスタッフなど、町会、地域住民、関連団体との連携授業の実施や地域で学ぶ、地域と学ぶ、地域に学ぶ活動を進めています。

3. 部活動（令和8年度）

バスケットボール部・バレーボール部・サッカー部・硬式テニス部・ソフトテニス部・野球部・陸上部・卓球部・バドミントン部・美術部・演劇部・吹奏楽部・ボランティア部の13の部があります。

上記の部活動のうち、今年度「ソフトテニス部」「硬式テニス部」「女子バスケットボール部」「卓球部」は、学校部活動の業務委託により、「(株)リーフラス」が全体の活動を請け負っています。

多くの部活動で生徒たちが主体的に活動をしています。運動部では都大会出場を果たしている部活動が多くあります。また演劇部は令和7年度関東大会に出場し、銀賞を受賞しました。

4. 卒業生の進路（令和8年3月卒業）

国立高進学	1人	通信制学校進学	13人
公立高進学	71人	その他	0人
私立高進学	78人	合 計	163人

生徒が自ら進路先を選択し、第一志望合格を目指す過程の中で、進路先で活躍できる力の習得を目指しています。

5. 学級数・生徒数（令和8年6月1日現在）

学 年	7 年	8 年	9 年	合 計
学級数	5 学級	5 学級	4 学級	14 学級
生徒数	155 名	162 名	157 名	474 名

区内中学校では、生徒の在籍数が最も多い学校です。

荏原第五中学校

連携グループ 源氏前小学校・旗台小学校・清水台小学校



校長 高木 賢太郎
所在地 品川区旗の台5-11-13
TEL 3781-5643 FAX 3781-5810
URL <https://ebaras5-jh.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 東急大井町線・池上線「旗の台」駅下車 徒歩3分



誇り高い生徒を育てます

1. 教育目標

知

◎教養ある人

徳

◎心豊かな人

体

◎健康な人

五中校区の小学校と共通視点に立ち、義務教育の9年間を通して、「自ら学び、自ら行動する児童・生徒の育成」を目指します。

【目指す生徒の姿】

1. 主体的に考え学びぬく生徒
2. 誠実で思いやりをもって接することのできる生徒
3. 心を鍛え仲間と切磋琢磨する生徒

【基本方針】

- ◎基礎・基本の確実な定着により、学びを深める学習を実践するとともに、義務教育9年間の系統性を重視した指導を行います。
- ◎小学校との合同研究推進部を設置し、カリキュラムマネジメントに基づく系統的な学習指導を組織的に推進します。
- ◎市民科による系統的な人間教育に取り組み、道徳的実践力や社会的判断力・行動能力・集団適応力・自他理解力、コミュニケーション能力を身に付けさせます。
- ◎コミュニティ・スクールとして保護者や地域と連携した教育活動に取り組み、開かれた学校づくりを目指すとともに、生徒の自主性・自律性・行動力を育成します。
- ◎学校行事や生徒会活動などの体験活動を通して、社会性・公德性・共生の精神を育みます。

2. 本校の特色

【学力の定着に向けて】

1. 小教室などの施設を有効に活用して、英語・数学で少人数や習熟度に応じた授業を行います。
2. 毎朝10分間の読書に取り組みます。
3. 卒業後の進路保証に向け、定期考査のほか、各種学力調査や意識調査を活用して各教科の指導方法の改善を図り学力の定着と向上に努めます。
4. 品川地域未来塾やグローバル人材育成塾を通して、個々の課題に対する支援を行います。

【地域の学校として】

- ①品川コミュニティ・スクール
学校地域コーディネーターを中心に教育活動の充実を図ります。
- ②「地域奉仕活動」
生徒会主催の「月例地域清掃」や小学生とともに、地域の清掃活動に取り組みます。
- ③積極的な「ボランティア活動」
地域の夏祭り屋台販売、もちつき大会、小学生マラソン大会などのボランティアに、地域の学校として貢献します。



地域清掃

3. 施設

【校庭】

1周130mのトラックがとれる広さがあり、人工芝の校庭のため、体育、昼休み、放課後の部活動など運動時間の確保ができます。



学び舎

【アリーナ（体育館）】

アリーナ1は体育館として体育、儀式的行事、部活動等で、アリーナ2は武道場、講演会、対面式等で活用するなど、幅広い用途に合わせた屋内施設があります。

【その他】

メディア機器のある多目的室、1万冊の蔵書があるメディアセンター、4つの小教室、ITルーム（パソコン室）などがあります。



メディアセンター

4. 卒業生の進路

主に公立高校に進学する傾向が高いですが、私立高校や専門性を身に付ける各種学校に進む生徒もあり、自己の適性や興味・関心に応じた進路指導をキャリア教育の視点から系統的に進めています。

5. 学級数・生徒数（令和8年5月1日現在）

	1組	7年	8年	9年	合計
学級数	2	4	3	4	13
生徒数	9	125	97	130	361

荏原第六中学校

連携
グループ

小山小学校・第二延山小学校



校 長 稲葉 慶太

所在地 品川区小山5-20-19

TEL 3781-7776 FAX 3781-4315

URL <https://ebar6-jh.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス 東急目黒線「西小山」駅下車 徒歩3分



家庭・地域・学校 ～未来を創造する生徒を育てる～

1. 教育目標

～自主・自律の精神をふまえ、豊かな心を備え、たくましく生きる生徒～

- 一、自ら考え挑戦する生徒
- 一、礼儀正しく、誠実で思いやりのある生徒
- 一、心身ともに健康で社会に貢献できる生徒

2. 充実した学習指導と個に応じた学習

◆きめ細やかな学習指導（1人1台のiPad）

数学・英語では、全学年において少人数指導を実施しています。また、全教室にICT機器が整備され、大型スクリーンやiPadを活用して、図や写真を効果的に掲示した授業の工夫や改善を図っています。

◆家庭学習の習慣を定着

家庭学習の習慣を身に付けるため、家庭学習のノートを毎日実施しています。それぞれが自分に必要な学習課題を見つけ、取り組んでいます。未来塾では、定期考査の前に放課後の自主学習教室を実地しています。



荏原第六中学校 校舎

3. 特色ある教育活動

◆市民科学習や学校行事

恵まれた学習施設を活用し、和室では毎年全学年が茶道を体験しています。また、地域の人材の協力のもと、六中寺子屋（職業講話）や職場体験を行っています。こうした多くの体験活動を実施しています。

◆生徒会活動

生徒会が中心として5つの委員会があり、より良い学校生活に向けて自主的に取り組んでいます。（代表委員、規律委員、美化委員、図書委員、保健給食委員）

◆ハートウォーミング六中

荏原六中の誇るボランティアグループです。あいさつ向上運動、花いっぱい運動をしています。



ICT機器を活用した授業（社会）



特色ある教育活動（茶道体験）

4. 学級数・生徒数（令和8年5月1日現在）

	7年	8年	9年	合計
学級数	3	3	2	8
生徒数	99	87	76	262

5. 部活動

◆運動部

バスケットボール、ソフトテニス、野球、ダンス、卓球

◆文化部

吹奏楽、アートクラフト、日本文化（百人一首、将棋）、茶道

6. 進学校（令和7年度）

◆公立高校等

青山 大崎 大田桜台 北園 国際 江北 狛江 小山台 桜町 第一商業
つばさ総合 田園調布 豊多摩 日本橋 日比谷 広尾 深沢 目黒 八潮 雪谷
産業技術高専 筑波大付属駒場 など

◆私立高校等

関東国際 國學院 品川エトワール 品川翔英 自由ヶ丘学園 昭和第一
淑徳巣鴨 専大附属 青稜 創価 中大杉並 東海大高輪台 東京 東京実業
日工大駒場 日体荏原 日大櫻丘 日大豊山 文教大付属 法政第二 明治学院
目黒学院 目黒日大 立正大立正 早大高等学院 など



ハートウォーミング六中（花いっぱい運動）

戸越台中学校

連携
グループ

京陽小学校・宮前小学校



校長 堀井 昭宏
 所在地 品川区戸越1-15-23
 TEL 3781-6250 FAX 3781-0895
 URL <https://togoshi-jh.shinagawa.andteacher.jp>
 アクセス 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩3分
 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩5分



〇すすんで学ぶ 〇心豊かに 〇たくましく

1. 学級数・生徒数 (令和8年5月1日現在)

	7年	8年	9年
学級数	3	3	3
男子	46	33	34
女子	43	59	61
合計	89	92	95

～地域の誇り戸越台中～



2. 教育目標

【指導の重点】

《誰一人取り残されることなく、一人一人のもつ可能性を引き出すことを目指して》

1 進んで学ぶ生徒の育成

- ◆「主体的に参加できる」「身についたことが実感できる」授業を目指し、基礎・基本の定着を図ります。
- ◆ICT機器等を活用して「分かり易く」「興味・関心を高める」授業を目指し、個別最適な学びを推進します。
- ◆「多様な考えを共有する」「協力して課題解決にあたる」授業に取り組み、協働的な学びを推進します。

2 心豊かな生徒の育成

- ◆物事を相手の立場から見たり考えたりすることのできる、広く大きく豊かな心の成長を目指します。
- ◆上級生が下級生の手本となることの自覚を高め、リーダーシップ・フォロワーシップを育てます。
- ◆多様な価値観に触れる機会として、合築の戸越台特別養護老人ホームや近隣の保育園と交流活動をおこないます。

3 たくましい生徒の育成

- ◆自分の目標実現に向けて、望ましい生活習慣・運動習慣を身につけ、強い意志と健康な体を育みます。
- ◆職場体験・上級学校訪問とその準備の取組において、社会に通用するマナーや知識を身につけます。
- ◆将来を見通し自らの判断で進路選択が進められるように、3年間の系統的なキャリア教育に取り組みます。

3. 特色ある取組

【生きる力】 基礎・基本を大切に授業、これからの社会生活に必要な学力をつける授業を各教科工夫して行います。市民科―貫プラン戸越台グループとして、京陽小、宮前小と共に〈目指す生徒像〉自らの将来を自分で決められる子・社会のつくり手になれる子の育成を目指し、キャリア教育を大きな柱として、教科・市民科・行事等、様々な教育活動の中で、生きて働く力を身につけさせます。

【交流】 戸越台特別養護老人ホームと併設の特色を生かし、「七夕交流会」などの季節的な行事、夏季休業中の「ボランティア体験」など高齢者との交流を行います。また、市民科を始め、各授業、学校行事を通して、福祉の心やボランティア精神を育てています。

【伝統】 特色ある行事や市民科、各教科の授業の中で日本の伝統と文化を大切に教育を行い、「礼儀・思いやり・責任を重んじ、品格のある行動がとれる生徒」の育成を目指しています。

【地域】 品川コミュニティスクールとして、近隣商店街、神社、小学校、保育園、児童センター、地域センター、警察署、消防署等、地域の特性を活かしたコミュニティスクールとして、地域との絆を大切にしています。

4. 卒業生の進路 (令和7年度卒業生進学先)

- ◆公立 青山・園芸・大崎・大田桜台・大森・北園・工芸・駒場・小松川・小山台・芝商業・新宿・墨田工業・高島・田園調布・つばさ総合・戸山・西・一橋・広尾・三田・美原・目黒・雪谷・六本木 他
- ◆私立 青山学院高等部・郁文館・錦城学園・クラーク国際・國學院・国土館・駒澤大学・品川学藝・正則・多摩大学目黒・中央大学杉並・中央大学附属横浜・千代田・東海大学附属高輪台・東京・東洋・トキワ松・日本学園・日本工業大学駒場・日本大学鶴ヶ丘・日本大学豊山・法政第二・目黒学院・目黒日大・立正大学附属立正・早稲田大学高等学院・代々木・ルネサンス・N高 他

5. 部活動 (令和8年度)

- ◆バレーボール(女子)、バスケットボール、ソフトテニス、剣道、水泳、卓球、吹奏楽、美術、茶道、ハンドメイド

6. 標準服 ほか

- ◆令和5年4月1日より新標準服に変わりました。
- ◆ブレザー型の3タイプ、スカートとスラックス、リボンとネクタイは選択できます。
- ◆(夏)上衣は、白と紺のポロシャツから選べます。
- ◆共通 指定のリュック、通学用靴(運動靴、ローファー)
- ◆指定体操着 ジャージ、半袖シャツ、ハーフパンツ





校長 守屋 直孝 統括副校長 倉次 里絵
 所在地 品川区東五反田2-11-1
 TEL 3441-3209 FAX 3441-3246
 URL <https://hinogaku.shinagawa.andteacher.jp>
 アクセス J R山手線「五反田」大崎 駅下車 徒歩 5 分
 都営浅草線・東急池上線「五反田」駅下車 徒歩 6 分



教育目標

国際社会で自己実現を果たす子ども

○学力の育成

基礎基本を大切に授業を展開する中で、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を身に付けさせています。また、9年生での進路選択の幅が広がるように、9年間を系統的に捉えた本校独自のカリキュラム（日野カリキュラム）を作成し、実践しています。

○生活力の育成

義務教育学校の良さを生かし、多様な関わりを経験させながら豊かな人間関係を育成します。「時を守る」「環境を整える」「礼を正す」を教育活動の根底に据えて指導を行い、高い規範意識の育成に努めています。

日野カリキュラムの実践

【英語】

1年～4年 週1時間
 5～6年 週2時間
 7年～9年 少人数指導

【算数・数学】

2年～9年 少人数指導
 6・7・8年 次学年の単元を一部学習



後期課程教員による
6年の家庭科授業

【ゆとりある授業時間数】

- ◆1年～4年 根っこ時間（週5回×15分）
- ◆5年～9年 50分授業（教科担任制）
- ◆5年～9年 日野学タイム（週5回×10分）

【進路対策】

- ◆8年サマースクール
後期課程の教員と10名程度の指導助手が生徒一人一人に応じた学習指導を行います。受験に向けての学習の仕方や心構えなども学ぶことができます。
- ◆校内学習
確認テスト7・8年で1回、9年で3回実施。
- ◆品川地域未来塾
自学自習を目的に5年以上で月3回程度実施。



多様な交流活動

◆B & S 活動（Brother & Sister）

1～9年で決めた兄弟学年において、運動会や文化祭、学習成果発表会などを通じた交流も行っています。「上級生が模範」を示していく事で、下級生は憧れを抱き、より良い人間関係の育成に役立っています。

◆たてわり交流活動

1～4年（いちよん）、5～7年（FSS）、8・9年（EN）では各ブロック内で、縦割り班を作り、合同行事など積極的な交流活動をしています。

◆特別支援学級との交流

運動会や文化祭等では交流委員会が企画し、特別支援学級との交流種目や交流合唱などがあります。また、交流授業もあり関わりを深めることができます。

◆探究的な学習「ウェル探」を通じた地域との交流



五反田地域清掃



ラーメン教室

文武両道（行事・部活動）

【日野学1～4年・5～9年運動会】



【合唱コンクール】



【5年から参加できる部活動】



【ブラインドサッカー体験】



【伝統文化体験】



【伝統文化体験】



【日野学園は進学指導に力を入れています】

高校合格状況(令和7年度 国公立高校)

お茶の水女子大学附属、東京科学大学附属科学技術、東京学芸大学附属、産業技術高専、日比谷、小山台、三田、雪谷、田園調布、大崎、八潮、戸山、目黒、桜町、西、竹早、北園、文京、向丘、神代、砂川、新宿、つばさ総合、工芸、墨田工科、六郷工科、千早、国際、総合芸術、六本木、永福学園



シンボルマーク



校章

校長 野口 大和

所在地 品川区大井5-1-37

TEL 3771-3374

FAX 3771-0944

URL <https://itogaku.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス J R横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩7分
J R京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅より
バス「西大井駅」行き「伊藤学園」下車 徒歩1分



ミッション

自律する力を身に付けた、他者を尊重し、社会や地域に貢献する人材（区民）を育成します

教育目標

- 自学求道「かしこく」自ら学び生きる道を切り開く人を育成する（主体的に学ぶ力）。
- 切磋琢磨「なかよく」互いに磨き合いながら生きる人を育成する（豊かな社会性）。
- 至誠一貫「ねばりづよく」忍耐強く誠実に責任を果たす人を育成する（自律し貢献する力）。



目標達成に向けた指導の重点

〈学力向上〉

- 授業と家庭学習の一体化による基礎・基本の学力の確実な定着
- 探究的な学習を通じ、主体性をもって深く学ぶことのできる子どもの育成
- 5年生以上の教科担任制の実施



日常的にタブレットを活用した授業

〈豊かな人間性と社会性の育成〉

- 共感と協働を基盤とした学級、学年経営、学校運営の推進
- 子ども主体の係活動や委員会活動、学校行事運営の推進
- 異学年交流を通したリーダーシップ、フォロワーシップの育成



ボランティアとして地域事業に参加

〈一人一人の幸せを守り育てる支援体制の充実〉

- 特別支援に係る教育および相談の充実と医療的ケア等の支援体制の整備
- 不登校および別室登校等の子ども・家庭への支援体制の充実
- 「いじめ予防プログラム」によるいじめ未然防止の取組と実践



いじめ予防プログラム「デイケン」

卒業生の主な進路先

都立高校等 日比谷、青山、国際、三田、小山台、駒場、戸山、西、新宿、雪谷、田園調布、目黒、大崎、八潮、広尾、美原、産業技術高専、芝商業、第一商業、永福学園、港特別支援、豊島、文京、園芸、小岩、世田谷総合、大田桜台など

私立高校 早大本庄、國學院、駒澤大学、東海大高輪台、日本大学鶴ヶ丘、品川翔英、関東国際、駒場学園、大森学園、自由ヶ丘学園、東京、東京実業、日体大荏原、明治大学附属中野、専修大学付属、多摩大目黒、科学技術、早稲田実業学校高等部、明治大学附属世田谷、下北沢成徳、早稲田佐賀、淑徳巣鴨、正則、立正大付属立正、クラーク記念国際、N、S など

児童・生徒・学級数（令和8年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級		合計
										1～6年	7～9年	
児童・生徒数	85	91	90	84	92	79	149	138	152	22	19	1001
学級数	3	3	3	3	3	3	5	4	4	3	3	37



校長 夏井 真一

所在地 品川区八潮5-11-2

TEL 3799-1641

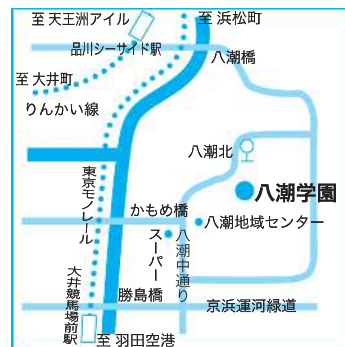
FAX 3799-1643

URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス JR京浜東北線「大井町」・JR各線「品川」駅からバス「八潮北」下車 徒歩2分

りんかい線「品川シーサイド」駅下車 徒歩15分

東京モノレール「大井競馬場前」駅下車 徒歩15分



令和8年度 八潮学園グランドデザイン

品川区教育ビジョン

「子どもたちの笑顔でつながる共生社会」
～皆のウェルビーイングを目指して～

一人ひとりの資質・能力を育成する教育

誰一人取り残さないきこえの教育

学びを支える教育体制の確保

＜円滑な施策推進のための基盤＞

地域とともにある学校づくり

3校種体制における学校教育の推進

9年間の一貫したカリキュラム

幼児教育と義務教育の円滑な接続

教育施策における12の方針

- 幅広い知識・専門的能力の育成
- 豊かな学力の育成
- 豊かな心・健やかな体の育成
- 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・居場所づくりの推進
- グローバル・インバリューを担う人材育成・職業実践力の育成
- 学校・家庭・地域の連携・協働による教育
- ダイバーシティ&インクルージョンに根拠した教育
- 社会・経済状況に応じた教育の実現
- 充実した生涯学習・社会教育の機会の確保
- 教職員の養成およびサポート・指導体制の確保
- 教育DXに向けたICT環境の整備
- 安全・安心な教育環境の整備

八潮学園の目指す学校像

児童生徒を主語にした学び舎

- 自ら考え、進んで行動できる学校
- 自らの成長を実感できる学校
- 家庭や地域と共に歩める学校
- 教師がいそいそと活動できる学校

八潮学園の教育

- 義務教育9年間を通し、探究的な学びを目指した柔軟な教育課程の構築
- 細やかな指導による基礎基本の学力の定着
- 豊かな社会性・人間性・人権尊重精神の育成
- 地域に貢献する人材の育成
- 「4-3-2」の発達段階に応じた学習スタイルの確立及び多様な形態での異学年交流の推進
- 幼稚園・保育園、近隣の学校、地域との連携活動

八潮学園の行動指針（人間力・社会力）



夢と力（Agency）を育む八潮学園

＜八潮学園の教育目標＞

知力のある人

よく考える子
心やさしい子
明るく元気な子

徳力のある人

5～9年
自ら学び創造力のある児童生徒
思いやりと規範意識をもつ児童生徒
健康でたくまい児童生徒

体力のある人

基本方針

1-4年

- 基礎・基本の学力を身に付けさせるために学習規律を、幼保と連携して1年生の初めから丁寧に指導し、定着を図る。家庭学習の習慣を身に付けさせ、自ら計画的に学習に取り組む態度を育てる。
- 集団生活を送るために必要な基本的生活習慣を、日常生活の中で粘り強く指導する。
- 4年では、縦割り活動、委員会活動、儀式的行事等を通してリーダー性を育てる。
- 市民科の授業を通して、学習・生活面での基礎・基本的態度を身に付けさせる。

5-7年

- 基礎・基本を定着させるとともに、全教育活動において一段高い目標を設定させ、それに向かって進んで取り組む態度を育み、学力を向上させる。
- 1・4年で学んできた基本的な生活上のルールやマナーを自分のものとして振り返らせ、集団の中で、自ら判断し行動できるようにする。
- 児童生徒会の中心である自己の役割を自覚し、進んで貢献させる。
- 市民科の授業を通して、学校や地域の様々な活動における自己の役割を考えて、自ら取り組むようにさせる。

8-9年

- 基礎・基本の学力をもとに自ら課題を見つけ、積極的に学習しようとする態度を育てる。
- 身に付けた規範意識をもとに、義務教育学校の最高のリーダーとして、行事や部活動などの諸活動において中心となって運営させる。
- 地域と連携したボランティア活動に積極的に取り組ませる。
- 市民科学習のまとめの学年として、地域・社会に積極的に貢献しようとする態度を育てるとともに、自らの進路を切り拓く力を身に付けさせる。

具体的な取組

基礎・基本の徹底

- 義務教育学校の特色を生かした一貫教育の推進
- 前期課程からの教科担任制の拡充と学年担任制の導入による複数教員での指導体制の構築
- 学校DX推進による教育の充実
- 恵まれた環境や施設を生かし、芸術やスポーツ、科学技術やものづくりなど多様な取組の充実
- 算数・数学「八潮オリジナル問題集」（1～9年生、都立一般受験攻略）全児童生徒に配布、日々の学習計画を明確にして、朝の学習タイム・授業・宿題・計算コンテスト・放課後学習など個に応じた学習指導の展開
- 5年生から定期考査の実施
- 「チャイム着席」「あいさつ」「忘れ物はない」「人の話をしっかりと聞く」「一人一台端末の活用」など、基礎・基本の徹底

地域等との連携

- 品川コミュニティ・スクールの制度を活用した八潮地域と共にある学校
- 「多様性理解・多文化共生の実現に向けた取組」では、デフサッカー選手による授業などバラスポーツ体験や講演を実施
- 8・9年児童生徒会を中心に地域活動への積極的な参加
- 「共生社会の実現に向けた教育活動」では、近隣の私立高等学校である明晴学園との手話教室、児童生徒交流、品川総合福祉センターと連携した障害者理解、福祉教育などを展開
- 部活動の一部民間委託および地域連携の推進
- 最新の防災実践訓練「地域防災×学校防災」とし、品川区防災課と連携した「しながわ防災・ジュニアプロジェクト」全学年・公開授業の実施

授業改善への対応

- 教育DXによるICT教育を充実させ、「協働的な学びから個別最適な学びへ」と自らの学びを深める児童生徒の育成～問いづくり～」を実現する指導方法の工夫
- 市民科一貫プランとして、全学年を挙げて、地域と連携した防災教育を推進
- 将来、持続可能な社会の創り手となるよう、持続可能な開発目標と関連させたカリキュラムの実施
- 教育の改善・充実を目的とした教師の働き方改革を通じた、効果的な教育活動、業務改善、タイムマネジメントの実施
- 校内での異学年交流や関係の保幼・小・中との交流を意図的、計画的に行い、互いに理解し、コミュニケーション能力の育成



学習成果発表会



異学年「給食交流」



運動会

主な進学先

●国公立

小山台・青山・美原・大田桜台・大崎・六郷工科・産業技術高専・大森・深沢・八潮・蒲田・上野・広尾・城東・国際・駒場・戸山・目黒・田園調布・小台橋・つばさ総合・三田・桜町・六本木・千歳丘・芝商業

●私立

大森学園・立正大立正・品川翔英・東京都市大学塩尻・朋優学院・日本大学鶴ヶ丘・東洋大学京北・目黒日本大学・東京・駒澤大学・N高等学校・飛鳥未来さすな・中央学院・錦城学園・正則・東洋・足立学園・暁星国際・東京実業・専修大附属・立志舎・広尾学園小石川・日本体育大学荏原・世田谷学園・慶應義塾女子・品川エトワール女子



校長 上田 享志
 所在地 品川区平塚3-16-26
 TEL 3782-7770 FAX 3782-9137
 URL <https://ebahira.shinagawa.andteacher.jp>
 アクセス 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 7 分
 東急目黒線「武蔵小山」駅下車 徒歩 10 分



【児童生徒数】(令和8年5月1日 現在)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	前期課程 4組	7学年	8学年	9学年	後期課程 5組	全校合計
学級数	3	3	3	3	3	2	4	3	3	3	3	33
児童生徒数	86	97	89	75	73	69	28	110	116	102	22	867

チームえばひら（教育目標と本校の特色）

好 学

～学習に熱心に取り組む～



誠 意

～万人に真心を尽くす～



鍛 錬

～自ら心身を鍛える～



【学力の定着と向上・自学自習の体得】

- 指導助手による支援や習熟度別学習、放課後補習教室などを展開し、個に応じた指導を進めています。
- 放課後補習教室では、受験対策としての「えばひら合格塾（英語と数学）」や英語に親しむことから始める「えばひら英語教室」などを展開しています。
- 5年生から教科担任制を入れたり、定期考査を実施したりすることで、後期課程へスムーズに移行できるようにしています。

【多様な関わりと豊かな人間関係づくり】

- 9年間のつながりを意識した市民科学学習を展開し、系統的に人間性や社会性を育みます。
- 異学年交流（にこにこ班活動・絆交流・防災学習・キャリア学習・地域清掃）を通して、思いやりの心を育みます。
- 市民科学学習では、日本文化の礼儀作法を知る機会として、「茶道教室」を全学年で実施しています。
- ふれあいボランティアパスポートを活用したボランティア活動を積極的に行い、目的・共助の力を身に付けさせます。

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」を目指し、学校と地域が連携・協働し継続性を保ちながら子どもたちを育てていく教育活動です。本校では、ボランティアの力を活用して、「茶道」「学校花壇」「図書」「学習支援」など、子どもたちのより良い体験学習の手助けをしています。

【主な進学先】

国公立	日比谷	小山台	三田	雪谷	田園調布	大崎	八潮	大森	杉並総合
	戸山	青山	駒場	目黒	広尾	桜町	農芸	国際	第一商業
	西	豊多摩	世田谷総合	六郷工科	科学技術	園芸	晴海総合	つばさ総合	蒲田
	大田桜台	新宿山吹	六本木	産業技術高専	総合芸術	芝商業	竹早	東工大附属	ほか
私立	専修大附	杉並学院	錦城学園	法政大	自由ヶ丘学園	國學院	国士館	駒澤大学	明治学院
	東京実業	品川エトワール女子	品川翔英	東洋	多摩大目黒	品川学藝	目白研心	正則	青稜
	目黒学院	岩倉	東京家政大	文教大付	都市大等々力	十文字	実践学園	東海大高輪台	東京
	大森学園	東農大一	昭和鉄道	立正大附立正	日本学園	芝国際	二松學舎大附	N校	日体大荏原
	かえつ有明	日大鶴ヶ丘	目黒日大	国際基督教大学	朋優学院	駒場学園	中央大学	早大本庄	ほか



SHINAGAWA
GAKUEN

校長 小宮山 琢磨
所在地 品川区北品川3-9-30
TEL 3474-2671 **FAX** 3474-2673
URL <https://shinagaku.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 京浜急行本線「新馬場」駅下車 徒歩3分
JR各線「大崎」駅下車 徒歩12分
東急バス「新馬場駅前」下車 徒歩3分



自他のウェルビーイングの向上を図り、よりよく社会を変え、支える力と資質・能力を育む

歴史と伝統のある品川の地で、地域社会を担う一員としての自覚をもち、社会の中で自己実現を図りながら、しながわに生き抜く児童・生徒の育成を図るために、義務教育9年間の連続した教育の創造に努めます。

教育目標

- 学ぶ力**—— 学び続けるための「基礎力」「思考力」「実践力」の向上を支援する。
第1～4学年：基礎力、学習技能・規律の定着
第5～7学年：活用力、学習習慣の徹底
第8・9学年：展開力、自学自習能力の伸長
- 豊かな心**—— 認め合う人権感覚、人権意識の向上を支援する。
第1～4学年：社会性の基礎づくり
第5～7学年：よりよい人間関係の構築
第8・9学年：社会人としての素養を獲得
- 健やかな体**—— 自分の心身の健康を自分で守る態度の向上を支援する。
第1～4学年：健康な生活、運動習慣の定着
第5～7学年：鍛錬と健全な心の発達
第8・9学年：たくましい心身の育成

進路指導

職業調べ、職場体験など、市民科を通して体験的に学習します。卒業生の体験を聞く会、進路説明会の開催など上級学校への進学指導も計画的に実施しています。

○主な合格校

日比谷、小山台、青山、戸山、三田、広尾、目黒、雪谷、大崎、美原、産業技術高専、慶應義塾、慶應女子、早稲田大学高等学院、中央大学、明治学院、東海大学付属高輪台、國學院、文教大学付属、朋優学院、品川翔英、正則、東京、目黒学院 ほか

特色ある教育活動

○1-9、4-5、4-3-2のまとまりを生かす教育課程・施設

第1～4学年（1・2階）総合型教室

学級担任制 45分授業 縦割り班活動による4年生のリーダーシップ 引継式 緑化隊活動を実施

第5～7学年（3階）セミオープン型教室

教科担任制 50分授業 5年生からの児童生徒会活動への参加 7年生としてのリーダー性の育成 立志式を実施

第8・9学年（4階）教室および小学習室型

教科担任制 一部選択授業 連合自治会活動による地域行事への積極的な参加、社会参画

1万㎡のグラウンド・学年で使える多目的スペース・

2フロアの学校図書館・25m×6コースの温水プール

○特別支援教育の充実

- ・1～9年生の特別支援学級を併設
- ・特別支援学級と通常級との交流による相互理解
- ・都立品川特別支援学校との交流

○市民科等を活用した教育活動

- ・市民科4つの柱「めざす子どもの姿を達成するための4本柱」
1自己理解 2他者理解 3崇高な生き方 4社会性・将来性の育成
- ・近隣連携園と児童との交流、生徒の保育体験
- ・国際理解教育の推進
オリンピック・パラリンピック教育「世界ともだちプロジェクト」

○部活動

プロジェクト活動：世界ともだちプロジェクト、地域まちづくり
北品川第二保育園

文化系：吹奏楽部、美術部、パソコンメディア部、科学部、演劇部

運動系：バスケットボール部、ソフトテニス部、水泳部、女子バレーボール部、陸上部、ダンス部



入学式・後期課程始業式



運動会（5-9年）



書初め大会（1-6年）



立志式（7年）

児童・生徒・学級数

（令和8年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援 1～9年	合計
児童生徒数	126	111	106	115	124	125	129	135	122	40	1133
学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	41



校長 柳岡 裕幸

所在地 品川区二葉1-3-40

TEL 3782-2930

FAX 3782-1497

URL <https://hoyonomori.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス 東急大井町線「下神明」駅下車 徒歩 3分



児童／生徒数（令和8年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級		合計
										1～6	7～9	
児童・生徒数	95	98	96	97	96	98	144	146	142	19	18	1049
学級数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	36

学校理念 MAKE EVERYONE SMILE

教育スローガン TOGETHER

教育目標

- ・進んで学ぶ
- ・誠実に生きる
- ・健康を増進する

校訓

進 取 ・ 忠 恕 ・ 壮 健

15年間教育の推進



○二葉すこやか園（二葉幼稚園・二葉つばみ保育園）と連携を強化し、15年間一貫した教育を推進します。

異学年交流



- 1年生から9年生が、様々な行事で関わり合い、互いを認め合います。
- 保幼小ジョイント事業として、二葉すこやか園および連携園と保幼小交流を実施しています。

多様性理解・多文化共生の推進



○多様な価値観や文化を尊重する態度や運動・スポーツに親しむ態度、思いやりの心を育てます。

特色ある教育活動（行事）



○1年生から4年生まで、5年生から9年生までに分かれて運動会・学習成果発表会を行います。各学年の発達段階に合わせ、集団での達成感を味わえます。1年生から9年生までが温かく交流する姿が見られます。

5年生から参加できる部活動



- 技能や技術を高め、個性を伸ばします。
- ☆運動部 サッカー・陸上・卓球・バスケットボール・バレーボール・テニス・ダンス
- ☆文化部 雅楽・吹奏楽・数学・美術・競技かるた・地域活動

品川コミュニティ・スクールの取組



○児童・生徒が特技や好きなことを伸ばし、互いに高め合うことのできる取組を行っています。

☆HYM科学研究所、HYM Advanced English Club、HYM計算道場など

地域貢献



○市民科で学んだ力を地域や社会で発揮する児童・生徒を育てます。

施設の充実



- 人工芝の校庭で思い切り運動することができます。
- 温水プールを活用し、年間を通した水泳指導を実施します。
- 和室を活用し、茶道や箏を指導します。

本校の標準服



○全ての児童・生徒が、豊葉の杜学園で協働して学ぶという一体感を育てるためのツールとして活用しています。

令和7年度の主な合格先一覧

【都立・国立】 青山、つばさ総合、園芸、田園調布、大崎、戸山、大島、西、大田桜台、晴海総合、大森、広尾、蒲田、三田、駒場、目黒、小山台、八潮、桜町、雪谷、新宿山吹、六郷工科、世田谷総合、六本木、総合芸術、産業技術高等専門学校、千歳丘、港特別支援学校、釧路工業高等専門学校、東京科学大学附属科学技術高等学校 など

【私立・専修学校・その他】 N 高等学校、正則学園、武蔵野、市川、青稜、明治学院、岩倉、専修大学附属、明治大学付属世田谷、大森学園、専修大学松戸、明治大学付属中野、科学技術学園、多摩大学目黒、明聖、神田学園、中央大学、目黒学院、関東国際、千代田、目黒日本大学、暁星国際、天理、目黒日本大学（通信）、錦城学園、東海大学付属浦安、八雲学園、国本女子、東京学館浦安、立教新座、慶應義塾、東京、立正大学付属立正、慶應義塾志木、東京実業、早稲田大阪、コードアカデミー高等学校、東京都市大学等々力、早稲田大学高等学院、駒込、東洋、早稲田大学本庄高等学院、駒澤大学、東洋女子、すす学園高等専修学校、駒場学園、日南学園、鹿島学園、栄東、日本工業大学駒場、東京文理学院、品川エトワール女子、日本体育大学在野、飛鳥未来さすな、品川翔英、日本大学鶴ヶ丘、E'cole Secondeire ESQUIMALT High School、渋谷教育学園幕張、日本大学豊山、自由ヶ丘学園、羽田国際、淑徳、ヒューマンキャンパスのぞみ、淑徳、文化学園大学杉並、淑徳巣鴨、文教大学付属、潤徳女子、法政大学国際、昭和学院秀英、法政大学第二、昭和鉄道、朋優学院、成女、保善 など

保護者の皆様へ

品川区教育委員会
品川区立中学校長会
品川区立義務教育学校長会

通学における約束および注意事項

1 通学方法

- (1) 各校の始業時間、下校時間は異なりますので、各校の時刻表にあわせてください。
- (2) 交通経路は、徒歩またはバスもしくは電車を利用させてください。
自転車による通学は安全確保の面から禁止しております。

2 持ち物

- (1) 緊急時の連絡は、学校を通じて行いますので、携帯電話、スマートフォンなどは所持させないでください。
- (2) 不要な金銭も同様に、所持させないでください。

3 その他

各学校によって、生活指導上の注意事項がありますので、当該注意事項を遵守させてください。

品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域

※ ○○学園は「義務教育学校」を表します。

1 東海中学校		5 富士見台中学校	
北品川	2丁目（20番12号～17号） 2丁目（30番1号～9号） 2丁目（31番～33番） 2丁目（34番1号、2号）	西大井	4丁目（8番～25番） 5丁目（全域） 6丁目（全域）
東品川	1丁目（30番～39番） 3丁目（全域） 4丁目（全域） 5丁目（全域）	豊町	6丁目（25番～31番）
南品川	1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域） 5丁目（1番～12番） 6丁目（全域）	二葉	3丁目（1番～16番、22番～30番） 4丁目（全域）
東八潮 八潮	（全域） 1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域）	6 荏原第一中学校	
2 大崎中学校		上大崎	4丁目（全域）
西品川	1丁目（1番～24番、27番） 2丁目（1番～8番） 2丁目（9番4号、6号～14号） 2丁目（10番～24番） 3丁目（全域）	西五反田	3丁目（6番、10番～16番） 4丁目（全域） 5丁目（1番、7番～14番、23番～29番）
大崎	1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域） 4丁目（全域） 5丁目（全域）	小山台	1丁目（全域） 2丁目（全域）
西五反田	1丁目（11番～23番） 8丁目（4番～12番）	小山	1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域）
戸越	1丁目（26番1号～4号、25号、26号） 1丁目（27番1号～12号） 1丁目（29番1号～10号、29号～35号） 1丁目（31番）	荏原	1丁目（1番7号～35号） 1丁目（2番5号～15号） 1丁目（3番、4番） 1丁目（5番8号～19号） 1丁目（6番5号～14号） 1丁目（7番、8番） 1丁目（9番5号～12号） 1丁目（10番7号～13号） 1丁目（11番、12番） 1丁目（13番5号） 1丁目（14番8号～12号） 1丁目（19番、24番、25番）
3 浜川中学校		7 荏原第五中学校	
南品川	5丁目（13番～16番）	旗の台	1丁目（3番～5番、10番、11番） 2丁目（1番、4番～13番） 3丁目（全域） 4丁目（全域） 5丁目（全域） 6丁目（8番～12番、20番～33番）
東大井	1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域） 4丁目（全域） 5丁目（全域） 6丁目（全域）	中延	3丁目（8番、9番、12番、13番） 4丁目（1番、15番～17番）（2番～14番、18番～21番） 5丁目（全域） 6丁目（全域）
南大井	1丁目（1番～17番） 4丁目（1番～5番）（6番～13番） 5丁目（1番～9番）（10番～15番）	東中延	2丁目（7番～10番）
勝島	1丁目（全域） 2丁目（全域） 3丁目（全域）	8 荏原第六中学校	
4 鈴ヶ森中学校		小山	4丁目（全域） 5丁目（全域） 6丁目（全域） 7丁目（全域）
南大井	1丁目（18番～22番） 2丁目（全域） 3丁目（全域） 4丁目（14番～20番） 5丁目（16番～27番） 6丁目（全域）	荏原	5丁目（全域） 6丁目（全域） 7丁目（全域）
(右へつづく)		旗の台	1丁目（1番、2番、6番～9番） 6丁目（1番～7番、13番～19番）
(右へつづく)		(右へつづく)	

9 戸越台中学校		13 荏原平塚学園	
荏原	1丁目 (15番～18番、20番～23番) 2丁目 (1番～3番、9番、18番)	荏原	2丁目 (4番～8番、10番～17番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域)
平塚	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	中延	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～7番、10番、11番)
戸越	1丁目 (1番～18番) 2丁目 (1番～5番、6番23号～30号) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番、2番) 4丁目 (3番1号～5号、19号～28号) 4丁目 (4番3号、4号、15号～24号) 4丁目 (5番～9番) 5丁目 (1番～7番、10番～17番) 5丁目 (18番1号～9号、14号～20号)	旗の台	2丁目 (2番、3番)
10 日野学園		東中延	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～6番)
上大崎	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	西中延	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)
東五反田	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～15番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	14 品川学園	
西五反田	1丁目 (1番～10番、24番～33番) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～5番、7番～9番) 5丁目 (2番～6番、15番～22番、30番～32番) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域) 8丁目 (1番～3番)	北品川	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～19番) 2丁目 (20番1号～11号、18号～25号) 2丁目 (21番～29番) 2丁目 (30番10号～28号) 2丁目 (34番3号～5号) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)
荏原	1丁目 (1番2号、3号) 1丁目 (2番1号～4号、16号、17号) 1丁目 (5番1号～7号、20号) 1丁目 (6番1号～4号、15号) 1丁目 (9番1号～4号、13号、14号) 1丁目 (10番1号～6号、14号) 1丁目 (13番1号～4号) 1丁目 (14番1号～7号、13号～15号)	東品川	1丁目 (1番～29番) 2丁目 (全域)
11 伊藤学園		南品川	4丁目 (全域)
広町	2丁目 (全域)	広町	1丁目 (全域)
大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域)	東五反田	2丁目 (16番～22番)
西大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番～7番)	15 豊葉の杜学園	
12 八潮学園		西品川	1丁目 (25番、26番、28番～30番) 2丁目 (9番1号、15号～17号、19号、21号、22号)
八潮	4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	豊町	1丁目 (1番～10番、13番) (11番、12番、14番～18番) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (1番～24番)
(右へつづく)		二葉	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (17番～21番)
		戸越	1丁目 (19番～25番) 1丁目 (26番5号～24号) 1丁目 (27番13号～30号) 1丁目 (28番、29番11号～28号) 1丁目 (30番) 2丁目 (6番1号～22号、31号、32号～39号) 2丁目 (7番～9番) 4丁目 (3番6号～18号) 4丁目 (4番5号～14号) 4丁目 (10番、11番) 5丁目 (8番、9番1号～6号) 5丁目 (9番7号～14号) 5丁目 (9番15号～18号) 5丁目 (18番10号～13号) 5丁目 (19番、20番) 6丁目 (全域)

指定校変更許可基準

基準番号	許可基準	添付書類	留意事項
1	指定校への通学が、距離・時間・通学上の安全確保などの観点から支障があると認められる場合		
2	おおむね 1 年以内に品川区内で転居が確定していて、あらかじめ転居先の指定校に通学させることが望ましいと判断される場合	・ 転居先住所の記載された売買契約書、賃貸借契約書など	
3	保護者の就労などの理由により下校時または登校前にやむを得ず児童を近親者などに預けざるを得ない場合 (1～6年生に限る)	・ 近親者などの預かり同意書、保護者の就労、営業など状況を確認できるもの ・ 親族関係が証明できる証明書 (戸籍、住民票など)	近親者などとは親族関係があるものに限る。
4	慢性疾患などで長期間・定期的に通院治療を必要とし、かつ、診療時間の関係により、病院の最寄りの学校へ通学する必要があると認められる場合	・ 診察券、診断書など	自宅、学校および病院の距離・地理関係について確認が必要
5	その他教育委員会が特に必要と認めた場合	状況に応じて適宜提出	客観的判断による。

※必要に応じて上記以外の書類を提出していただく場合があります。

※学校の状況によっては、希望校への受入れができない場合があります。

問合せ先一覧

内 容		担 当	電 話	F A X
入学の手続きについて		学務課 学事係 (第二庁舎 7 階)	5742-6828	5742-0180
学校の給食について		学務課 保健給食係 (第二庁舎 7 階)	5742-6829	5742-0180
品川区の教育 について	小中一貫教育、 英語教育など	指導課 指導主事 (第二庁舎 7 階)	5742-6595	5742-6892
	教育授業に関する こと	教育総合支援センター 指導主事 (西五反田 6-5-1 4 階)	5740-8200	3490-2007
発達に不安のあるお子さんの 就学について		教育総合支援センター 特別支援教育担当 (西五反田 6-5-1 4 階)	5740-8202	3490-2007
品川区ホームページアドレス		https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/		

令和9年度 新入学生徒用 品川区立中学校・義務教育学校 学校案内

中学校・義務教育学校案内パンフレット

編集 品川区教育委員会事務局

学務課 受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分(土曜日・日曜日・祝日を除く。)

〒 140-8715 品川区広町 2 丁目 1 番 36 号 防災センター・第二庁舎 7 階

TEL 03 (5742) 6828 FAX 03 (5742) 0180



① 東海中学校

② 大崎中学校

③ 浜川中学校

④ 鈴ヶ森中学校

⑤ 富士見台中学校

⑥ 荏原第一中学校

⑦ 荏原第五中学校

⑧ 荏原第六中学校

⑨ 戸越台中学校

☆ 日野学園

☆ 伊藤学園

☆ 八潮学園

☆ 荏原平塚学園

☆ 品川学園

☆ 豊葉の杜学園

※ ★は義務教育学校を表しています。